

第60回試験研究成果発表会（花植木Ⅱ）発表概要

【日 時】 令和5年2月14日（火）13:00～15:10

【場 所】 農林総合研究センター大会議室（千葉市緑区大金沢町180-1）

発表1 成果発表

燃やせる土を使ったシクラメンの栽培方法

花植木研究室 室田 有里

多くの自治体では「土」をごみとして捨てることができず、特にマンション住まいの世帯では、鉢花や寄せ植えの観賞後の鉢土の処分方法が問題となっています。そこで、焼却可能な資材を用い、可燃ごみとして捨てられる培養土（燃やせる土）を開発しました。今回は、燃やせる土に使用した資材、燃やせる土そのものの特徴、燃やせる土を使用したシクラメン栽培の方法、注意すべき点について紹介します。



燃やせる土を用いて栽培したシクラメン



600℃ 4時間燃焼させた場合の灰
(左：慣行土、右：燃やせる土)

発表2 成果発表

ヒートポンプを活用したエラチオール・ベゴニアの周年安定生産技術・第2弾 ～EOD-heating 処理による暖房コストの削減～

花植木研究室 中島 拓

千葉県農林総合研究センターではヒートポンプを活用したエラチオール・ベゴニアの周年安定生産技術の開発に取り組んできました。一昨年度は秋期出荷を対象とした夜間冷房方法についてお話しましたが、今回は冬期出荷を対象に、暖房コストを削減するための変温管理（EOD-heating）や電照方法について紹介します。



EOD-heating 処理時の昇温時間の影響



EOD-heating 処理時の電照時間の影響

発表3 情報提供

初夏花壇におけるペチュニア優良品種の選定（第67回全日本花卉品種審査会）

花植木研究室 室田 有里

第67回全日本花卉品種審査会において、初夏花壇の植栽に使用するペチュニア優良品種として選定された5品種「スーパーチュニア ラヴィドゥヴィ」、「カラーラッシュホワイト」、「スーパーチュニア ビスタミニ クリスタル」、「スーパーチュニア ビスタ スノー」、「ビューティカル ボルドー」について、それぞれの特徴を紹介します。



1等特別賞
「スーパーチュニア ラヴィドゥヴィ」



2等 「カラーラッシュホワイト」

発表4 成果発表

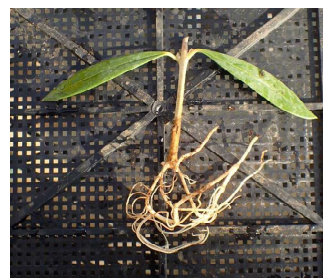
オリーブ及び常緑ヤマボウシの安定的な挿し木手法

花植木研究室 高橋 玄

庭木や緑化樹等として人気のあるオリーブや常緑ヤマボウシは挿し木増殖での発根率が低い
ため、計画的な生産が難しい樹種です。挿し木は発根するまでは非常に不安定な状態で、発根
するまでに穂木を枯死させないように好適な条件下に置く必要があります。そこで、それぞ
れの樹種について発根率を向上させる挿し木条件を明らかにしました。今回は、発根率の安定化
に最適な挿し木の時期や灌水条件、光条件などを紹介します。



パーライトに挿したオリーブ



高光量下で挿したオリーブ

発表5 情報提供

輸出用イヌマキの根洗い後の樹勢維持技術

花植木研究室 高橋 玄

植物検疫を通過するには、根部土壤除去（根洗い）によりセンチウ類を除去する必要があります。しかし、土壌を除去されたイヌマキは水分欠乏に陥りやすく、枯死葉の発生や落葉による商品価値の低下が問題となっています。そこで、葉の間引きや蒸散抑制剤の散布により、蒸散量を抑制し、樹体の水分を維持できるか検証しましたので、その結果を紹介します。



蒸散抑制剤の散布



葉の間引き